

人事部より

～この冊子を手にしたあなたへ～

地域の方々の健康をしっかりとサポートするためには、薬剤師の人柄（優しさ）が一番大切だと感じています。そのために重要なポイントとなるのが、入社後の薬剤師の教育です。ウェルパークでは、新入社員一人ひとりの進捗状況にくわえ、性格や強み・弱みも分かる範囲が望ましいと考え、毎年10名程度の採用を行っています。あなたのこともしっかり見守っていきますので、ぜひ一緒に地域に貢献できる薬剤師を目指していきましょう。



人事部 持田 誉広



株式会社ウェルパーク

〒190-0003 東京都立川市栄町6-1-1

TEL : 042-538-7216

<https://www.welpark.jp/recruit/>

いつも
誰かを想う、
薬剤師に
なりたいから

ウェルパーク 2022新入社員BOOK

新入社員たちがウェルパークに決めた9つの想い

仲間たちとともに、想う

不安をちゃんと解消して 帰ってもらいたいから、 みんなで知識を深めていく

明治薬科大学 薬学部 卒業

谷村 玖実佳

Kumika Tanimura

「一人の患者さんに何分でもかけていいよ。時間に制限はないから、患者さんに寄り添うことを大事にしてね」。この言葉を薬局見学で言われたことが、ウェルパークに惹かれたきっかけでした。これを可能にしているのは、一人薬剤師にせず、処方箋枚数と比しても多めに薬剤師を配置しているからだと言われ、私は入社を決めたのです。

入社後の店舗研修では、OTCを求める患者さんが多いことを強く実感しました。「妻が授乳中なのですが、この薬は大丈夫でしょうか？」など、患者さんはいろんなことを気にされ

ています。学校で学ぶ以外の多くの知識が必要となりますが、ウェルパークのアットホームな環境下で薬剤師同士が情報共有を積極的に行うことで、新たな知識を吸収できます。私に対応した患者さん以外の情報も知れることで、新しい患者さんにもより対応できるようになるのです。患者さんに貢献したいという強い思いを持った方が入社しているからこそ、こうしたアットホームな環境が生まれ、それがウェルパークの強みなのだと感じています。この強みを生かし、みんなで一丸となって、患者さんにもっと貢献できる企業として高め合っていきたいですね。

一人ひとりをずっと、想う

日々の健康のことも 相談してもらえる関係を築き、 長期的に寄り添っていききたい

東京薬科大学 薬学部 卒業

小林 大樹

Taiki Kobayashi



患者さんに寄り添い、頼りにされる薬剤師。そんな理想の薬剤師像を目指すために重視したのが、調剤監査システムが導入されているかどうかでした。ウェルパークの店舗見学では、実際に調剤監査システムを見せてもらいながら話が聞け、安心できたことを強く覚えています。

薬剤師がしっかりと対応しやすい環境があることで、患者さんに向き合うことに専念でき、対応力の向上も図れます。たとえば、ずっと同じ薬を飲み続けている方と新規で来られた方では説明の仕方を変えるなど、心地いいと思ってもらえる接客は患者さんによってさまざまです。現場

経験を通じてこうしたスキルを身につけることで、「この人になら健康のことも相談したい」と思ってもらえるようになります。そんな経験を積み上げられるのは、OTCや健康食品など幅広く扱うドラッグストアならではのでしょう。さらに、ドラッグストアでは、患者さんとの長期的な付き合いが多くあります。だからこそ、お変わりがなく悪化していないかも見ていけますし、逆に何か不調が感じられたら話を伺って、ということも可能になるのです。患者さんの日々にしっかり寄り添い、地域に寄り添う、そのために最適なキャリアを築いていきたいと考えています。

いつも誰かを想うここだから、 地域密着の薬剤師を目指していける

Ayaka Hayashi



ウェルパークは大手企業と違って規模が小さいので、一人ひとりをしっかり見てくれていると感じました。また小規模だからこそ、やりたいことに挑戦しやすいのでは、とも考えたのです。入社後の研修ではグループワークも多く、周囲の意見を聞くことや自分の意見を伝えることは、大きな学びでした。今後も多くを学び、患者さんのために多くの挑戦ができる薬剤師を目指したいです。

帝京大学 薬学部 卒業 **林 彩華**

ウェルパークは同期の数が10名前後なので、一人ひとりと向き合ってもらえ、成長できる場だと思ったことが入社の決め手となりました。また、店舗が1都3県にしかないため自宅から通いやすい点も大きな理由です。地域の人から「この人がいるからここを選んだ」と言ってもらえるように、常に相手は何を求めているのかを考えながら話すことで、患者さんとの信頼関係を築いていきたいです。

明治薬科大学 薬学部 卒業 **谷脇 周**

Takayuki Ibaraki



私は、かつて「街の化学者」と呼ばれたような薬剤師になりたいと考えています。昔から特に生物有機化学が好きだったので、薬だけではなく日用品や食品に至るまで、化学的な目で見られるようになることが目標です。そして身のまわりの化学を、患者さんの説明の中にうまく盛り込みたいと思います。一人ひとりの薬剤師を大切にするウェルパークなら、それが叶うと考えました。

星薬科大学 薬学部 卒業 **茨木 駿志**

Tatsuki Iino



病院実習の経験から、いわゆるフレイル状態の患者さんをいかに病気の状態に移行しないように対処できるかが大切だと、強く感じました。そこで、患者さんのさまざまな悩みや相談に真っ先に対応し、適切に対処、アドバイスができる地域密着型の薬剤師になりたいと考えたのです。そこで、地域密着できる企業の中で研修が充実したところを探し、ウェルパークを選びました。

日本薬科大学 薬学部 卒業 **迫 俊一郎**

面接などで出会った方々が魅力的で、こういう人間になりたいと思ったことがウェルパークに決めた理由です。私が目指すのは、薬だけに限らず生活の何気ないことでも相談してもらえる薬剤師。なんでも話していただくには心を開いてもらう必要があります。自分から素直に実直に患者さんに接することや、考えずとも行動できるような専門知識を習得することを意識していきたいです。

城西大学 薬学部 卒業 **飯野 辰輝**

インターンでウェルパークの店舗見学をした際に、薬剤師の方々が処方箋について話し合っている姿を目にし、協力して働ける環境が整っていると感じました。話し合っている雰囲気も思いやりに満ちており、また、一人が一日あたりに対応する処方箋枚数が約20枚に設定されていると伺い、ここなら患者さん一人ひとりの悩みや不安にしっかり寄り添っていけると考えました。

城西大学 薬学部 卒業 **中山 詩音**

Naoto Kuboyama



ウェルパークに決めた理由は、一人薬剤師がないことです。患者さん一人ひとりにじっくり寄り添える薬剤師になりたいため、自分にとって非常に大きなポイントでした。入社後の研修では、時間も人員もしっかりと割いていただき、その指導もとてもやさしく、入社してよかったと強く感じています。自分の成長も日々実感でき、もっと成長したいと前向きに思うことができました。

明治薬科大学 薬学部 卒業 **久保山 尚士**

Shunichiro Seko



Shion Nakayama

